

公 園

ボール遊びの
できる公園

増設の進捗状況等及び人工芝化は
ウェブサイトに掲載 人工芝化も検討



石原たかゆき議員(創生市川)
令和2年6月定例会において、ボール遊びのできる公園の増設を要望したが、その進捗状況等及び公園の人工芝化について問う。
答 子どもが自由にボール遊びを行える公園の増設が厳しい中でも、ボール遊びのできる12カ所の公園の情報を市公式ウェブサイトに掲載するとともに、ボール遊びに否定的な意見等のある公園にはボール遊びのできる近隣の公園の情報や同サイトの2次元コード等を掲示し対処しているほか、公園内でできることを掲示し利用してもらうことを考えている。また、公園の人工芝化は課題を含め慎重に検討すべきと考えている。

道 路 交 通

公共交通利用
補助制度

本市においても導入する考えは
公平性などにも配慮し検討していく



中村よしお議員(公明党)
市内のバス利用者数は、コロナ禍の影響などにより大幅に減少している。市は市民がバスを利用しやすくなるよう、利用促進策を実施すべきと考える。他市における市民向け公共交通利用補助制度の導入事例を踏まえ、本市でも同様の制度を導入する考えはあるか。
答 他市の事例では、国の臨時交付金を活用した限定的な措置となっているため、まずは国の交付金などの動向を注視していきたい。一方、公共交通の利用促進に有効な制度であるため、先進事例などを調査・研究し、公平性などにも配慮しながら、導入について検討を進めていきたいと考えている。

防 災

排水・冠水対策

宮久保・下貝塚地区はいかに
土水路の草刈り・清掃などを実施



つかしたから議員(市会を良くする会)
宮久保・下貝塚地区では、排水路の整備が進んでいない箇所があり、大雨が降ると一時的に道路冠水が起き、地先周辺では、道路側溝に

てしまうが、宮久保・下貝塚地区において、市はどのような冠水対策を行ったか。
答 市が行った冠水対策として、宮久保5丁目22番地先周辺では、道路側溝に

鬼高地域の浸水対策

今後の計画と周知方法は
暫定対策が決まり次第説明会を実施



やなぎ美智子議員(日本共産党)
鬼高地域では、台風や大雨の度に道路冠水が頻繁に発生しており、地域住民は、何十年も改善を望んでいる。備に時間を要するため、暫

定対策として大和田ポンプ場への排水を検討している。令和6年度までに工事の支障となる他企業管を移設し、7年度より本工事に着手予定であり、完成後に暫定接続が可能となる。現在、暫定対策の実施設計を行っており、詳細が決まり次第、適切な時期に説明会を開催し、地元住民に周知したい。

行徳地域ふた掛け歩道

改修の現状と今後の計画は
引き続き整備に努めていく



青山ひろかず議員(清風いちかわ)
行徳地域には、水路に蓋をかけて歩道として利用するふた掛け歩道が多くあり、老朽化による段差やがたつき

答 令和3年度は、ガーデン通り宝1丁目1番地先の道路等を整備し、4年度は、水路の補強と併せて整備する香取通り福栄1丁目12番地先等の整備完了を見込んでいた。今後は、4年度から継続している塩焼、新井のほか6カ所の地域の整備完了を見込んでおり、継続的な整備に努めていく。

曾谷2丁目春日神社前

信号機設置に向けて民有地の活用は
協議検討を進めていきたい



かいづ勉議員(自由民主党)
曾谷2丁目春日神社前に信号機を設置することは、地域生活の安全のため必要と考えるが、設置について

答 平成30年8月に市川警察署と市で現場確認を行ったが、建柱スペースがなく信号機設置が困難とのことであった。安全対策として、注意喚起の看板設置やカーブミラーの調整等を行っている。民有地活用については、関係機関と協力し、所有者の意向を確認しつつ協議検討を進めていきたい。

防 犯

落書き被害

防止に向けた情報発信を
啓発や通報先の周知を行う



さとうゆきの議員(無所属の会)
落書き被害が市内に散見される。落書きは犯罪であることを市民に啓発し、落書きの防止に向けた情報発信を行うことができないか。

答 落書きの放置は美観を損ねるだけでなく、治安の悪化につながるなどの意見もあることから、今後は、未然に防ぐ取り組みが必要と考えている。そこで、令和5年度中に市公式ウェブサイトにおいて、落書きが犯罪であることを啓発するとともに、発見した際の連絡先を掲載することとした。

鉄道駅のエスカレーター

歩いて利用は不適切 市はどう対応
鉄道事業者の活動周知に協力したい



かつまた竜大議員(緑の社会)
鉄道駅のエスカレーターにおいては、歩いて利用する人がいるために、右側を空けている状況が多く見受けられる。しかし、多くの人は右利きであり、右側の手すりが必要としている体

答 鉄道事業者は、エスカレーターへの安全利用を促進するために、「エスカレーター」『歩かず立ち止まろう』キャンペーンなどの活動を行っているが、確認できる限りで状況は改善していない。本市としては、鉄道事業者から協力依頼があった際には、連携して活動の周知に努めていきたい。

行 財 政

宗教2世問題

悩んでいる人への対応は
関係課が連携して対応していく



石原よしのり議員(市民の力)
昨今、宗教2世問題がマスコミで報じられているが、関係課が連携して対応するほか、学校に対しては消極的な対応をせず、早期の発見及び対応に努めるように指導助言していく。

場合もあると認識しており、相談があった場合は、消極的な対応とならないよう国の通知等に基づき適切に対応する必要があると考えている。また、悩んでいる人へは関係課が連携して対応するほか、学校に対しては消極的な対応をせず、早期の発見及び対応に努めるように指導助言していく。

広域行政

本市の考え方は
近隣市との連携を図っていく



国松ひろき議員(創生市川)
市境に居住する市民にとつての個々の問題について、これまで様々な質問と要望をしてきた。本市は他市と

ため、近隣市と協議会の設立や情報交換を行っている。広域的な課題の全てを画一的に考えるのは、分野の特性や地域間の公平性の観点から困難であるが、住民ニーズの多様化などにより、更に広い分野での連携は必要と考える。今後も地域課題の解決のため、近隣市との連携を継続していく。